

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 8年 6月 / 日	
岩手県知事 達増 拓也 殿	
提出者 住 所 岩手県九戸郡洋野町大野 57-1-60 氏 名 堤内 武人 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0194-77-5341	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	堤内 武人牧場
事業場の所在地	岩手県九戸郡洋野町大野57-1-60
計画期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	酪農
②事業の規模	飼養頭数
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	農場 → 農) 洋野堆肥センター利用組合 → 堆肥化

(日本工業規格 A列4番)



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
農場 → 農) 洋野堆肥センター利用組合			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度 (7年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	排 出 量	1,030 t	t
	(これまでに実施した取組)		
無し			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	排 出 量	1,000 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
無し			
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	分別無し		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	分別無し		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	1,030 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	1,000 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
無し			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
無し			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	無し		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	全 処 理 委 託 量	1,030 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,030 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	無し		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	全 処 理 委 託 量	1,000 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,000 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	無し		
※事務処理欄			